

科目ナンバリング		U-LAS21 20001 SO48							
授業科目名 <英訳>	ドイツ語II A D2101 Intermediate German A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 須藤 秀平				
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

#### [授業の概要・目的]

タイトル：ドイツ小説の冒頭を原文で読む

この授業では、初級ドイツ語の知識を活かして、ドイツの有名ないくつかの小説作品の冒頭を原文で読みます。練習問題として用意されたドイツ語文ではなく、かつてドイツ人が実際に書き、現代も読まれているテキストを原文で読むことにより、ドイツ語力を高めるとともに、ドイツ文化に触れることを目指します。

中級ドイツ語ですので、初級ドイツ語の知識が必要です。基本的にはドイツ語のテキストを精読しますが、単に文の意味を把握するのではなく、原文の構造を理解し、自然な日本語訳を考えることを目標とします。

テキストを各自事前に予習した上で、授業は解説を中心におこないます。履修者数によってはグループワークの形態をとり、わかったところ、わからないところをグループで話し合ってもらうこともあります。進度はみなさんの理解度に応じて適宜調整します。基礎知識をつけるためのミニ講義や小課題も予定しています。

#### [到達目標]

- ・ドイツ語で書かれた文章の構造を理解し、内容を読み取った上で、人に伝わる日本語に訳すことができる。(技能)
- ・ドイツの文芸作品およびその歴史的・文化的背景に関する知識を身につける。(知識・理解)
- ・自分自身の関心や問題意識を持ち、それについて学術的に考察する。(態度・志向性)

#### [授業計画と内容]

授業はフィードバック日を含み15回行う。

- 1．オリエンテーション
- 2 - 14．テキストの精読
- 15．フィードバック

#### [履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

#### [成績評価の方法・観点]

平常点(70%)・学期末試験(30%)に基づくものとする。

ドイツ語II A D2101(2)

**[教科書]**

授業中に指示する

授業中にプリントを配布する。

ゲーテ『若きウェルテルの悩み』のようなよく知られた作品を始め、いくつかのドイツ小説作品を紹介しつつ読み解きます。

**[参考書等]**

(参考書)

独和辞典が必要。

**[授業外学修(予習・復習)等]**

授業ではテキストの解説が中心となるため、事前の予習(テキストの和訳等)が重要となる。

**[その他(オフィスアワー等)]**

外国語を学ぶ意義はたくさんありますが、その一つに自分たちとは別の文脈で生きる人々の考え方を知ることが挙げられます。この授業では、ドイツの文芸作品、すなわちドイツの人々がかつて実際に書いた歴史的テキストを読みます。当時どのような言葉が使われていたのか、どのような考えや価値観が広まっていたのかを知ることにより、私たちが目の前にしている現在を捉え直す視点を持ってもらいたいと思います。

**[主要授業科目(学部・学科名)]**